

4月から公立化～東北公益文科大学～卒業式

令和7年度東北公益文科大学卒業式(令和8年3月21日 酒田市)

東北公益文科大学の卒業式と大学院修了式が挙行されました。この日、公益学部を卒業した235名、大学院公益学研究科を修了した11名、合計246名が学びの節目を迎え、開学以来の累計は卒業生4,064名、修了生187名となりました。

東北公益文科大学は、4月から公立大学となりました。新たなスタートを切った大学の教育や研究がより一層充実し、地域との連携が進むよう、庄内地域の2市3町とともに支援していきます。



未来の県政を支える新しい力

「令和8年度新規採用職員辞令交付式」(令和8年4月1日 山形市)

新規採用職員の辞令交付式を行い、県政を支える158名の新たな仲間を迎えました。新たに採用された職員は、高い使命感を持ち、信頼される職員となるために、今後研修を受け、実務に取り組みます。県はこれからも県民の皆さまの声に耳を傾け、地域と連携して信頼される行政運営に努めます。なお、現在、令和9年度の採用に向けた山形県職員(大学卒業程度)採用試験の受験申込みを受け付けています。県の仕事に関心のある方はぜひご応募ください。



いきましよう！

取り組んでいく予定です。ものづくりの技術は本県の大きな強みです。こうした強みを生かし、県内経済をさらに活性化させ、山形の未来を切り拓いてい

りを支えていると思います。本県のプロジェクトでも、製品開発の知見を農業分野に応用し、本県のシンボルであるさくらんぼ栽培の省力化と規模拡大に向け、山形発のスマート農業機器の開発に

この製品は、川西町にある工場で製造され、全国に出荷されているんですよ！

軽さと長いバッテリー駆動時間という相反する要素を両立させたこのパソコンは、国内大手メーカーの中核拠点である米沢市の工場が開発・生産されたものです。世界トップクラスの技術を有し、製品の軽さや性能で常に業界首位を争う国内屈指の工場です。

先日、世界最長のバッテリー駆動時間を誇るAI搭載の軽量ノートパソコンを県にご寄贈いただきました。世界最長ってすごいことですよ！

知事コラム

山形の未来を拓く、ものづくりの技術！



山形県知事 吉村美栄子

こんなことがありました

持続可能で明るい山形県の未来へ「共創宣言」!

「第3回やまがた未来共創会議」(令和8年2月17日 山形市)

人口減少が進む中であっても官民が連携して持続可能で明るい本県の未来を考える「やまがた未来共創会議」の第3回会議を開催しました。

会議では、持続的な発展と県民の幸福(ウェルビーイング)の実現を目指して、産業・教育・行政などオール山形で連携・協働し、新たなアクションに挑戦する「やまがた未来共創宣言」を採択しました。今後、この宣言に基づき各団体がアクションを実行していきます。



東日本大震災から15年—追悼・復興祈念事業を実施

「3.11キャンドルナイト『追悼・復興への祈り』」(令和8年3月11日 山形市、米沢市)

東日本大震災の発生から今年で15年を迎えました。震災の教訓を語り継ぎ、次の世代につなげるため、文翔館(山形市)と米沢市市民文化会館で「東日本大震災追悼・復興祈念事業」を執り行いました。

山形会場ではキャンドル点灯に加え、VRゴーグルによる災害疑似体験など、米沢会場では被災地支援活動に関する講演会などを実施しました。今後も教訓を生かして防災・減災の取り組みを進めてまいります。



持続可能な地域へ—2年間の研究成果を公表

最上地域政策研究所 第7期研究活動終了式(令和8年3月12日 新庄市)

最上地域政策研究所は、最上管内8市町村と最上広域市町村圏事務組合、最上総合支庁が共同で設置した機関です。各自治体職員がメンバーとなり、地域課題の調査・研究を通して職員の政策形成能力の向上を図っています。第7期は「新たな財源の確保等による持続可能な地域展開」をテーマに、2年間にわたって研究を進め、このたび研究活動終了式を行いました。研究成果報告書は県のホームページで公開しています。ぜひご覧ください。

